

製品名: UBA52 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21101**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:15kD;Observed MW:10kD

抗原情報

遺伝子名	UBA52
別名	UBA52;UBCEP2;Ubiquitin-60S ribosomal protein L40;CEP52;Ubiquitin A-52 residue ribosomal protein fusion product 1
遺伝子 ID	7311.0
SwissProt ID	P62987
免疫原	ヒト UBA52 の合成ペプチド

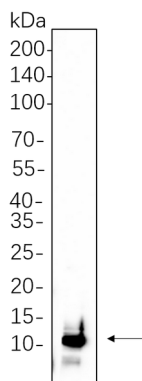
背景

細胞局在: [ユビキチン]: 細胞質, 核; [60S リボソームタンパク質 L40]: 細胞質. ユビキチンは、核および細胞質に高度に保存されたタンパク質であり、26S プロテオソームによる細胞タンパク質の分解を標的とする上で重要な役割を果たします。また、クロマチン構造の維持、遺伝子発現の調節、ストレス応答にも関与しています。ユビキチンは、ポリユビキチン鎖、または無関係なタンパク質に融合した単一のユビキチン残基からなる前駆体タンパク質として合成されます。この遺伝子は、N 末端にユビキチン、C 末端にリボソームタンパク質 L40 からなる融合タンパク質 (C 末端伸長タンパク質 (CEP)) をコードしています。この遺伝子に由来する複数の加工処理された擬遺伝子がゲノム中に存在します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Jurkat 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を UBA52 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。